

第25回学術集会ひょうご大会 会場別 タイムスケジュール ● 12月22日(日)

会場	神戸国際会議場								
	神戸ポートピアホテル	1階		3階		5階			4階
	第1会場 ポートピアホール	第2会場 メインホール	第3会場 国際会議室 301	第4会場 会議室 501	第5会場 会議室 502	第6会場 会議室 503	第7会場 会議室 504	第8会場 会議室 505	第9会場 会議室 401
席数	1702名	692名	300名	180名	180名	60名	60名	72名	100名
8:00									
9:00	basic lecture 4 精神医学 杉山 登志郎	大会企画 シンポジウム8 「『専門家里親』から学ぶ、里親里子クライシスからの転帰」(学会員限定) 海野 千敏子	S-38 「社会的養護における当事者参画—海外の取り組みから—」 佐藤 桃子	S-40 「子どもアドボカシーの萌芽を問い直す ~日本・カナダ両国における子どもアドボカシーの再獲得を目指して~」 畑 千鶴乃	S-44 「NICU (新生児集中治療室)での心理臨床 ~親子関係の始まりの場に心理士がいる意味」 藤嶋 加奈	S-48 「社会的養護における子どもの権利擁護の実践と展望」 中垣 真通	S-52 「チーム連携で行う虐待防止1次から3次予防 ~トリプルPの生かし方~」 柳川 敏彦	一般演題1 「児童相談所1」 座長：川崎 二三彦 渡邊 直	一般演題5 「医療1」 座長：木下 あゆみ 小橋 孝介
10:00			basic lecture 5 司法面接 仲 真紀子	S-39 「児童相談所児童福祉司の専門性、資格、育成の現状と課題」 増沢 高	S-41 「社会的養護措置解除後の生活実態をどのように把握するか」 永野 咲	S-45 「一時保護中の子どもの意見表明権 ~100人の子どもの声を通じて見えてきたもの~」 石倉 尚	S-49 「今 児童相談所は警察、検察との連携の中で子どもの代弁者としてその思いをいかに伝えていけばよいのだろうか」 鈴木 浩之	S-53 「子どもの意思実現に繋ぐセルフアドボカシー支援 ~自己理解と他者理解を往還するデザイン国語レッスン~」 伊藤 嘉余子	一般演題2 「児童相談所2」 座長：川松 亮 柏女 霊峰
11:00	basic lecture 6 社会的養育 森 茂起								
12:00		lunch time discussion 1 心理・司法	lunch time discussion 2 司法面接	lunch time discussion 3 保健・福祉	lunch time discussion 4 社会的養育				lunch time discussion 5 精神医学
13:00									
14:00	basic lecture 7 研究倫理 田中 究	大会企画 シンポジウム9 「里親養育と施設養育の未来について語り合う ~両者の機能連携を目指して~」 藤本 政則	大会企画 シンポジウム10 「性虐待をうけた子どもに必要な支援とは? ~チャイルドファーストなワンストップセンターを提案する~」 田口 奈緒 上月 明子 中村 有生	S-42 「子どもの力を引き出す、動機づけ面接~『あの人のように話せたら』そう感じたことありませんか?」 小平 真希	S-46 「子どもの声を聴くために何が子どもたちの権利と司法面接」 一場 順子	S-50 「社会的養護の子どもたちとのライフストーリー ~アドボカシーの土台作りを目指して~」 才村 真理	S-54 「子ども家庭福祉分野における地域包括的切れ目のない支援の可能性」 柏女 霊峰	一般演題3 「民間団体・その他」 座長：小木曾 宏 安保 千秋	一般演題7 「教育1」 座長：土橋 圭子 野田 正人
15:00				S-43 「予期せぬ妊娠の相談窓口から家庭養育へ」 佐藤 拓代	S-47 「虐待を受けた子どもの入所施設における10代への自立支援—各施設の心理職によるグループワーク実践から学ぶ」 樋口 純一郎	S-51 「児童福祉司のバックグラウンド (資格要件) による個々の専門性の活かし方—専門職それぞれの「強み」とは—」 衣川 修平	S-55 「多職種協働 (IPW)による多胎家庭支援研修プログラム開発」 西郷 泰之	一般演題4 「DV・その他」 座長：渋谷 和宣 下泉 秀夫	一般演題8 「医療4・教育2」 座長：毎原 敏郎 大塚 陽子
16:00		閉会式							
17:00									

神戸国際会議場				神戸ポートピアホテル				
4階		5階		本館B1階				
第10会場 会議室 402	第11会場 会議室 403	展示会場 ホワイエ	展示会場 ホワイエ	第12会場 和楽 1	第13会場 和楽 2	第14会場 生田	第15会場 布引	第16会場 北野
72名	94名	—	—	100名	230名	180名	120名	110名
一般演題9 「母子保健1」 座長：山田 和子 上野 昌江	一般演題13 「児童福祉施設1」 座長：八木 修司 波来谷 徹生	企業展示	書籍販売	S-56 「子育て世代包括支援センターにおける児童虐待発生予防となる多職種連携と親性準備性の育み」 中川 千恵美	S-59 「子ども若者の声・参画を促進する~アドボカシー制度化の動き・試行実践・展望~」 栄留 里美	S-62 「きょうだい間性暴力の加害児と家族の理解と介入 ~在宅処遇ケースに対するグループアプローチから~」 野坂 祐子	S-65 「『応援ミーティング』—当事者と支援者が創り出す新たな支援コミュニティ」 松宮 透高	S-68 「子ども虐待防止電話相談の見立てと支援 ~乳幼児を持つ母親からの相談を中心に~」 濱家 敦子
一般演題10 「母子保健2」 座長：高田 昌代 柳川 敏彦	一般演題14 「医療3・子育て支援1」 座長：星野 崇啓 才村 純			S-57 「市町村支援の実践報告：私たちは保護者と共通の目標を持って子育てを支援する」 矢後 芳明	S-60 「刑法改正後の性的虐待への対応現場からの報告 ~先行する司法面接の問題、監護者性交等罪不適用ケース~」 高瀬 泉	S-63 「家庭内・施設内・地域における性問題行動の類似点と相違点~児童自立支援施設での治療教育の実践から~」 岡本 光司	S-66 「児童虐待対応において、介入と支援の分離は必要か? ~より効果的な親子の支援を目指して~」 清水 克之	
lunch time discussion 5 精神医学 (音声継)	lunch time discussion 6 研究倫理							
一般演題11 「里親・養子縁組」 座長：藤野 興一 海野 千敏子	一般演題15 「児童福祉施設2」 座長：樋口 純一郎 野口 啓示			S-58 「児童家庭支援センターと構築する在宅支援、地域支援~児童相談所、市町村との協働~」 長谷川 多美子	S-61 「医療機関における被虐待児対応の制度的問題を考える」 溝口 史剛	S-64 「中核市児童相談所設置のリアル—奈良市児童相談所設置を目指して」 久保 樹里	S-67 「児童福祉に子どもの声を ~意見表明を支えるしくみを考える」 小坂 昌司	
一般演題12 「子育て支援2」 座長：井出 浩 藤原 千秋	一般演題16 「市町村」 座長：葉師寺 順子 鈴木 浩之							